TTP-244

熱転写/感熱バーコードプリンタ

取扱説明書

目次

1.	製品概要	1
1.1	遵守規制	1
2.	使い始める	2
2.1	箱の中身を確認する	2
2.2	設備のチェックリスト	2
2.3	プリンタの部品名	3
2.4	外付けラベルロールマウント	6
2.5	ボタンとランプ	7
3	設定	8
31	プリンクを設定する	8
3.2	ラベルとタグを取り付ける	8
3.3	リボンの取り付け方法	1
3.4	外付けラベルロールマウントの取り付け	4
3.5	自己診断1	5
3.6	ダンプモード	7
4.	TTP-243 プラス/243E プラス/ 342 プラスを使用する1	8
4.1	電源投入ユーティリティ 1	8
4	1.1 自己診断ユーティリティ	8
4	.1.2 ギャップセンサー補正ユーティリティ1	8
4	.1.3 プリンタの初期化	9
4.2	トラブルシューティングガイド 2	20

1. 製品概要

TSC Auto ID Technology Co., Ltd.のバーコードプリンタをお買い上げいただきありがとうご ざいます。このデスクトッププリンタは、優れた性能を、経済的な価格でお届けしています。パワ フルで使いやすいこのプリンタは、デスクトップ型の感熱方式及び熱転写方式のラベルプリンタ の中でも、ベストチョイスです。

このプリンタは、熱転写方式の印字及び感熱方式の印字の両方で、32ビット RISC マルチタ スクプロセッサ、最大4.0インチの印字速度の機能を提供します。熱転写方式の印字でも感 熱方式の印字でも、連続、ダイカット、ファンフォールドラベル、タグなど、幅広いメディアに対応 します。ほぼすべての一般的なバーコード形式がご利用いただけます。フォントとバーコードは、 4つの方向どちらにも印字できます。また、このプリンタは、8つの異なるサイズの英数字フォント を提供します。フォント・マルティプリケーションを利用して、より幅広いフォントサイズをご利用い ただけます。ソフトウェアから、スムーズなフォントをダウンロードすることができます。さらに、このプ リンタは、計算、ロジカル・オペレーション、ループ、フローコントロール、ファイル管理など、BASIC プログラミング機能を単独で実行することができます。このプログラミング能力によって、ラベル印 刷の効率を最大限にすることができます。プリンタのステータスとエラーメッセージは、接続によっ て、印刷またはモニター表示を行うことができます。

1.1 遵守規制

CE Class A, FCC Class A, C-Tick Class A, BSMI Class A, TÜV/GS, CCC

2. 使い始める

2.1 箱の中身を確認する

このプリンタは、配送時に損傷を受けないよう、特別な梱包が行なわれています。しかし、想定 外の損傷が発生する可能性がありますので、バーコードプリンタをお受け取りの際には、梱包と デバイスの状態をご確認ください。明らかに損傷を受けている場合は、運送会社に、損傷の状 態と程度をご連絡ください。プリンタを返送いただく場合に備え、梱包材は大切に保管してくだ さい。

2.2 設備のチェックリスト

- バーコードプリンタユニット×1
- Windows ラベルソフト/ドライバ CD ディスク
- クイックスタートガイド×1
- 外付け自動スイッチ電源×1
- 電源コード×1
- ラベル軸×1
- 固定タブ×2
- リボン軸×2
- リボン巻き取り軸用ペーパーコア×1

入っていない部品があった場合、お買い上げいただいた販売店または代理店の顧客サービス部門 までご連絡ください。

2.3 プリンタの部品名



図1 正面

- 1. カバーリリースボタン
- 2. PWR./ON-LINE/ERR.ランプ
- 3. PAUSE ボタン
- 4. FEED ボタン
- 5. ラベル取り出しロ



図2 内部

- 1. プリンタカバー(開いた状態)
- 2. ラベル供給ロール軸
- 3. 固定タブ
- 4. リボン機構
- 5. リボン供給軸
- 6. リボン巻き取り軸
- 7. プリンタキャリッジリリースレバー
- 8. 取り外し可能なフロンパネル
- 9. PAUSE ボタン
- 10. PWR/ON-LINE/ERR.ランプ
- 11. FEED ボタン





- 1. 電源オン/オフスイッチ
- 2. 電源 DC ジャック
- 3. RS-232C インターフェース・コネクタ
- 4. USB インターフェース・コネクタ
- 5. ラベル挿入口(外付けメディアを使用する場合)
- 6. セントロニクス・インターフェース・コネクタ(工場出荷時のオプション)

2.4 外付けラベルロールマウント



図4 外付けラベルロールマウント

2.5 ボタンとランプ

PWR.(電源)ランプ

POWER スイッチが入っていると、緑の PWR. ランプが光ります。

ON-LINE ランプ

プリンタが印字可能な状態になると、緑の ON-LINE. ランプが光ります。PAUSE ボタンが押さ れた状態では、ON-LINE ランプが点滅します。

ERR.ランプ(エラー/紙補充)

メモリエラー、構文エラーなど、プリンタにエラーが発生すると、赤い ERR. ランプが光ります。エラ ーメッセージの一覧については、4.2章のトラブルシューティングガイドをご参照ください。

PAUSE ボタン

PAUSE ボタンを押すと、印字ジョブを停止することができ、もう1度押すと、印字を再開することができます。PAUSE ボタンを押すと、次のことが行われます。(1) ラベル印字後にプリンタが停止する。(2) PAUSE の LED が点滅する。(3) プリンタがすべてのデータをメモリに保存する。 これによって、ラベルストックや熱転写リボンを、問題なく交換することが可能になります。 PAUSE ボタンをもう1度押すと、プリンタの動作が再開します。

注: PAUSE ボタンを 3 秒以上押し続けると、プリンタがリセットされ、それまでの印字ジョブの すべてのデータが失われます。

FEED ボタン

次のラベルを開始するためにラベルをフィードするには、FEED ボタンを押します。

3. 設定

3.1 プリンタを設定する

- 1. プリンタを平坦で安定した場所に置く。
- 2. POWER スイッチがオフになっていることを確認する。
- 3. プリンタを、同梱の RS-232C または USB・ケーブルで、コンピュータ・メインフレームに接続する。
- プリンタ背面の電源コネクタに電源コードを差し込んでから、適切な接地が行なわれたコン セントに、電源コードを差し込む。

3.2 ラベルとタグを取り付ける

- 1. プリンタのカバーを開ける。
- 2. プラテンの左側のプリンタキャリッジリリースレバーを引いて、プリンタキャリッジを取り外す。
- 3. ラベル供給ロール軸を、ラベルロールのコアに通し、固定タブで軸を押さえる。
- ラベルロールをラベルロールマウントに置く。ラベルをキャリッジの下に通し、プラテンの上に入れる。
- 5. メディアの幅に合わせ、ラベルガイドを調整する。
- 6. プリンタキャリッジを取り付ける。
- 7. ラベルロールをぴんと張るまで巻き取る。
- 8. プリンタのカバーを閉じ、緑の ON-LINE ランプが光るまで、FEED ボタンを3~4回押す。
- 9. プリンタでリボンまたはメディアがなくなると、ON-LINE の LED が消え、ERR.の LED が点滅 する。プリンタの電源を切らずに、リボンまたはメディアを取り付ける。ON-LINE の LED が 光るまで、FEED ボタンを 3~4回押す。データが失われることなく、印字ジョブが再開され る。

注: ラベル、リボンを取り付けた後、電源を入れる前に、印字ヘッド機構を閉じてください。電源を 入れる際に、リボンが取り付けられているかどうかをプリンタが検出し、熱転写モードで印字するか 感熱モードで印字するかを決定します。



図5 ラベル供給ロールのラベルロールマウントへの挿入

- 1. ラベル供給ロール軸
- 2. ラベルロールマウント
- 3. ラベルロール
- 4. 固定タブ



図6 調整可能なラベルガイドへのラベルのフィード

- 1. プリンタキャリッジリリースレバー
- 2. プラテン
- 3. ラベルメディア
- 4. 調整可能なラベルガイド

3.3リボンの取り付け方法

- 1. 空のペーパーコアをリボン巻き取り軸に置く。
- 2. リボンをリボン供給軸に取り付ける。
- 3. プリンタキャリッジを取り外す。
- 4. リボンリーダーをプリンタキャリッジの下からフロントパネルに引く。リボンリーダーをリボン巻き取 りペーパーコアに取り付ける。
- 5. リボンリーダーがリボンの黒い部分で完全にしっかりと巻かれるようになるまで、リボン巻き取り ローラーを回す。
- 6. プリンタキャリッジを取り付ける。
- 7. プリンタのカバーを閉じ、緑の ON-LINE の LED が光るまで、FEED ボタンを押す。

注: リボンとメディアを取り付けた後、電源を入れる前に、印字ヘッド機構を閉じてください。 電源を入れる間に、感熱モードか熱転写モードかを、プリンタが自動的に決定します。



図9 リボン供給ロールの設置

- 1. プリンタキャリッジリリースレバー
- 2. リボン供給軸
- 3. リボン巻き取り軸
- 4. 熱転写リボン



図10 ラベルストックと熱転写リボンの取り付け

3.4 外付けラベルロールマウントの取り付け



図11 外付けラベルロールマウントの取.....

- 1. 外付けラベルロールマウント
- 2. ラベル供給ロール軸
- 3. 外付けラベルフィードロ
- 4. 固定タブ

3.5 自己診断

自己診断モードにするには、プリンタの電源を入れながら FEED ボタンを押します。プリンタがラ ベルの長さを補正します。7インチ以内でラベル間のギャップが検出されない場合、プリンタがラ ベルのフィードを停止し、メディアは連続紙として扱われます。自己診断では、チェックパターン を使用して、熱転写ヘッドの性能を確認します。チェックパターンに続き、次の内部設定値をプ リンタが印刷します。

- 1. プリンタの機種とファームウェアバージョン
- 2. 使用量(E シリーズではこの項目は印刷されません)
- 3. チェックサム
- 4. シリアルポートの設定
- 5. コードページの設定
- 6. 国コードの設定
- 7. 印字速度の設定
- 8. 印字濃度の設定
- 9. ラベルサイズの設定
- 10. ギャップ(Bline)幅とオフセットの設定
- 11. 台紙の透明度
- 12. ファイル一覧

自己診断が完了すると、プリンタがダンプモードに入ります。通常の印字を再開するには、電源を切って入れ直してください。

PRINTER INFO. TTP244 Version: 1.01 MILAGE(Km): 0.4481 CHECKSUM: 0346F7F3 SERIAL PORT: 9600, N, 8, 1 CODE PAGE: 437 COUNTRY CODE: 001 SPEED: 2 INCH DENSITY: 12 ¥. SIZE: 4.26 , 4.00 GAP: 0.23 , 0.00 TRANSPARENCE: 146 ****** FILE LIST: DRAM FILE: 0 FILE(S) FLASH FILE: 0 FILE(S) KBYTES TOTAL FLASH: 1024 **KBYTES** AVAIL FLASH: 1024 TOTAL DRAM: 256 **KBYTES** AVAIL DRAM: 256 **KBYTES** END OF FILE LIST: *****

注:

内蔵の物理的なフラッシュメモリと DRAM は、それぞれ 2MB です。システムのファームウェアが 1MB を占めるため、ダウンロードに使用可能なフラッシュメモリの容量は、全部で 1024 K バ イトです。

システムのファームウェアが 1MB を占めるため、ダウンロードに使用可能なフラッシュメモリの容 量は、全部で 256 K バイトです。

3.6 ダンプモード

自己診断の後、プリンタはダンプモードに入ります。このモードでは、ホストコンピュータから送ら れるすべての文字が、次のように2行に印刷されます。受信した文字が最初の行に表示され、 対応する16進数の値が次の行に表示されます。これは、ユーザがプログラミングのコマンドの検 証や、プリンタのプログラムのデバグを行う際に役立ちます。プリンタをリセットするには、POWER スイッチを切って入れ直してください。

DOWNLOAD "DE	44	4F	57	4E	4C	4F	41	44	20	22	44	45
MO2.BAS" SI	4D	4F	32	2E	42	41	53	22	ØD	ØA	53	49
ZE 4.00,5.00	5A	45	20	34	2 E	30	30	20	35	2E	30	30
CLS SPEED	ØD	ØA	43	4C	53	ØD	ØA	53	50	45	45	44
1.5 DENSIT	20	31	2E	35	ØD	0A	44	45	4 E	53	49	54
Y 10 DIRECT	59	20	31	30	ØD	ØA	44	49	52	45	43	54
ION Ø SET C	49	4F	4 E	20	30	ØD	ØA	53	45	54	20	43
UTTER OFF S	55	54	54	45	52	20	4F	46	46	ØD	ØA	53
ET DEBUG LAB	45	54	20	44	45	42	55	47	20	4C	41	42
EL REFERENC	45	4C	ØD	ØA	52	45	46	45	52	45	4E	43
E 0,0 A=100	45	20	30	20	30	ØD	ØA	41	3D	31	30	30
0 Y=100 FO	30	ØD	ØA	59	3D	31	30	30	ØD	ØA	46	4F
R I=1 TO 3	52	20	49	3D	31	20	54	4F	20	33	ØD	ØA
BARCODE 100,	42	41	52	43	4F	44	45	20	31	30	30	20
Y,"39",96,1,	59	20	22	33	39	22	20	39	36	20	31	20
0,2,4,STR\$(A	30	20	32	20	34	20	53	54	52	24	28	41
) A=A+1 Y=	29	ØD	ØA	41	3D	41	2B	31	ØD	ØA	59	3D
Y+150 NEXT	59	2B	31	35	30	ØD	ØA	4 E	45	58	54	ØD
PRINT 1 EO	ØA	50	52	49	4E	54	20	31	ØD	ØA	45	4F
P DEMO2	50	ØD	ØA	44	45	4D	4F	32	ØD	ØA		

4. TTP-243 プラス/243E プラス/ 342 プラスを使用する

4.1 電源投入ユーティリティ

プリンタのハードウェアの設定とテストを行う電源投入ユーティリティは3つあります。これらのユー ティリティは、FEED または PAUSE ボタンを押しながらプリンタの電源を入れると、有効になりま す。ユーティリティは次のとおりです。

- 1. 自己診断
- 2. ギャップセンサーの補正
- 3. プリンタの初期化

4.1.1 自己診断ユーティリティ

最初にラベルを取り付けます。FEED ボタンを押してから、プリンタの電源を入れてください。プリ ンタがラベルをフィードするまで、FEED ボタンを押したままにしてください。プリンタが次の項目を 実行します。

- 1. ラベルのピッチを補正する
- 2. 熱転写ヘッドのチェックパターンを印刷する
- 3. 内部設定を印刷する
- 4. ダンプモードに入る

自己診断とダンプモードの詳細については、3.5章の「自己診断」と3.6章の「ダンプモード」を参照してください。

4.1.2 ギャップセンサー補正ユーティリティ

このユーティリティは、ギャップセンサーの感度を補正するのに用いられます。ユーザは、次の2つの場合に、ギャップセンサーを補正する必要があります。

- 1. メディアを新しいタイプに変更した場合。
- 2. プリンタを初期化した場合。

注: ギャップセンサーが正しく補正されていないと、ERR.の LED が点滅することがあります。

次の手順でギャップセンサーを補正してください。

- 1. プリンタの電源を切り、無地のラベル(ロゴや文字がない)をプリンタに取り付ける。
- 2. PAUSE ボタンを押しながら、プリンタの電源を入れる。
- 3. プリンタがラベルをフィードしたら、PAUSE ボタンから手を放す。プリンタが停止し、2 つの緑の LED ランプが点灯するまで、プリンタの電源を切らない。

注: ブラックマークセンサーは、感度が固定されています。 ブラックマークセンサーの補正の必 要はありません。

4.1.3 プリンタの初期化

プリンタを初期化すると、ダウンロードされ、フラッシュメモリに残されたすべてのファイルが消去され、プリンタのパラメータが初期設定値に戻ります。

パラメータ	初期設定値
使用量	自動
チェックサム	自動
シリアルポート	9600,N,8,1
コードページ	437(8ビット)
国コード	001
速度	2.0インチ/秒
濃度	08
サイズ	4.26", 2.50"
ギャップ(BLINE)	0.12, 0
透明度	85

次の手順でプリンタを初期化してください。

1. プリンタの電源を切る。

2. PAUSE と FEED ボタンを押しながら、プリンタの電源を入れる。

3. つの LED が点滅を始めるまで、ボタンを押したままにしてください。

注1: 電源を入れると、印字方法(熱転写方式または感熱方式)が自動的に設定されま す。

注 2: プリンタの初期化が完了すると、センサーの感度が初期設定にリセットされます。ラベル 印字前に、センサーの補正が必要になります。

注3: プリンタを初期化しても、ダウンロードされたファイルは削除されません。ファイル削除の詳細については、TSPL2 プログラミング・マニュアルの KILL コマンドを参照してください。

4.2 トラブルシューティングガイド

次のガイドー覧は、バーコードプリンタを操作中に起こる可能性のある最も一般的なトラブル の一部です。ここに記載された解決方法でもプリンタが機能しない場合は、お買い上げいただ いた販売店または代理店の顧客サービス部門までご連絡ください。

トラブル	解決方法
リボンが進まない、または巻き取られない	メディアとリボンを取り付け、プリンタの電源を入
	れる前に、印字ヘッド機構を閉じる。
印字品質がよくない	熱転写ヘッドを清掃する。
	印字濃度の設定を調整する。
	リボンとメディアに互換性がない。
	メディアの厚さが仕様以上である。
電源ランプが光らない	電源コードが正しく接続されているかどうか確認
	する。
	電源の LED が点灯しているかどうか確認する。
	点灯していない場合、電源が故障している。
ON-LINE ランプが消え、ERR. ランプが点く	紙切れ、またはリボン切れ
	ギャップセンサーの感度を補正する。
	リボン巻き取りペーパーコアが取り付けられてい
	ない。
ラベル印字時にフィードされ続ける	ギャップセンサーを補正する。

20



TSC Auto ID Technology Co., Ltd.

Corporate Headquarters 9F., No.95, Minquan Rd., Xindian Dist., New Taipei City 23141, Taiwan (R.O.C.) TEL: +886-2-2218-6789 FAX: +886-2-2218-5678 Web site: www.tscprinters.com E-mail: printer_sales@tscprinters.com tech_support@tscprinters.com

Li Ze Plant No.35, Sec. 2, Ligong 1st Rd., Wujie Township, Yilan County 26841, Taiwan (R.O.C.) TEL: +886-3-990-6677 FAX: +886-3-990-5577